科目名			担当教員	
特講・社会福祉学 27 （コミュニティ・ソーシャルワークⅦ）			高橋 誠一・丹野 智文・加藤 忠相	
科目コード	単位数	スクーリング単位	履修方法	配当年次
DT2227	1	1	S（講義）	1 年以上
生成 AI 利用レベル		試験（スクーリング含む）　：　C		

※受講希望者はスクーリング申込締切日までに履修登録とスクーリング申込みが必要です。

科目の概要

■科目の内容

地域共生社会における「コミュニティケア」のあり方を、先進的な介護事業所「あおいけあ」の実践と、若年性認知症当事者・丹野智文氏の視点から考察する。施設の中に閉じたケアではなく、多世代交流、住環境、テクノロジー、就労などを通じて、認知症や障害があっても地域社会の中で役割を持ち続けるための「環境デザイン」と「関係性の構築」について学ぶ。とくに、二人の視点と実践を教材とし、既存の支援枠組み（管理・保護）を問い直す。当事者のストレングス（強み）と自己決定権を尊重し、地域社会全体の変容（ソーシャルアクション）を促すコミュニティソーシャルワークの役割を探求する。

■到達目標

１）「クライアント」から「生活者」への視座の転換ができる。
２）「自立」と「自己決定」を支える支援を理解し、説明できる。
３）ストレングス視点と環境デザインのための効果的な手法を習得する。
４）地域共生社会における「パートナーシップ」構築の意義を説明できる。

■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「人と社会の理解力」「俯瞰的な分析力」「倫理的実践力」「開発・創造力」を身につけてほしい。

■教科書・参考図書

【教科書】

丹野智文著『認知症の私が、今を楽しく生きる理由(わけ): 「生活の工夫」と家族・仲間の力』中央法規出版、2025

配付資料も使用します。

※教科書は、スクーリング申込後、スクーリング受講料納入者へ送付しますので、履修登録時には配本されません。

【参考図書】

加藤忠相著『世界が注目する日本の介護 あおいけあ で見つけた じいちゃん・ばあちゃんとの向き合い方』講談社、2021

トム キットウッド著、高橋誠一訳『認知症のパーソンセンタードケア』クリエイツかもがわ、2017

■スクーリング講義内容

回数	テーマ	内容
1	総論　パラダイムシフト	ケアされる存在から、「生活の主体」、地域に貢献する存在へ
2	当事者の視点と社会の偏見	「認知症＝何もできなくなる」という社会の偏見（スティグマ）と、当事者の実感のギャップ
3	エンパワメントとピアサポート	「つながり」の力「おれんじドア」の事例
4	ストレングスモデルと環境調整	「できない」を「できる」に変えるテクノロジーと環境設定による自立支援
5	自己決定とリスクマネジメント	「失敗する権利」の保障
6	地域共生社会の構築	「パートナー」としての関係性、多世代共生の住まいとコミュニティ
7	ソーシャルアクション	個人の課題を社会の課題へ
8	まとめ	私たちがつくる未来のコミュニティ、質疑応答
9	スクーリング試験	

■講義の進め方

配付資料をもとにパワーポイントを使用し、途中ビデオなども見ながら講義を進めます。座学だけでなく、グループワークも行いますので、積極的参加が必須条件です。講義内容については若干の異同があるかもしれませんが、ご了解ください。

■スクーリング　評価基準

授業への参加状況 30%＋スクーリング試験 70%（持込可）。試験では、講義内容の理解を問います。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10 時間）

講師の丹野智文さん、あおいけあ加藤忠相さんの活動についてインターネットや専門雑誌などで調べてください。

また、「地域共生社会」、「新しい認知症観」などのキーワードやその他講義内容について調べ、学びたいテーマを自分なりに考えてきてください。

■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25 時間）

講義内容からさらに深く学びたいと考えたことに対して、調べてみてください。

■ゲスト講師紹介

「おれんじドア」の実行委員会代表　丹野智文　2023 年に自身の半生を描いた映画「オレンジ・ランプ」が公開

あおいけあ 代表取締役　加藤忠相　2017 年あおいけあに着想を得た映画『ケアニン』が公開